

へムスロイド村を拠点にしている作家の展示会やワークショップ、スウェーデンとのオンライン国際交流、音楽会、児童文学展のほか、例年多くの来場者でにぎわう「へムスロイドの杜まつり」を3年ぶりに開催する予定です。

本市には、このような豊かな文化が各地にあります。この機会に、質の高い芸術や異文化に触れてみてはいかがでしょうか。

開村30周年記念イベント

今年は30周年を記念してさまざまなイベントを開催します。

ことうへムスロイド村（以下、「へムスロイド村」）は、地域の交流の場と芸術文化の振興を目的に、平成4年に平柳町に開村しました。村内には、北欧風の4棟の工房と交流施設があり、現在は6人の工芸作家がガラスや木工、金属や陶、絵画などの創作活動に取り組まれています。工房の一般公開はしていませんが、村内は自由に散策でき、ゆっくりくつろげるカフェもあります。ぜひ、一度訪れてみてください。

ことうへムスロイド村とは

鈴鹿の山々の麓に広がる自然豊かな湖東地域は、これまで匠の技を受け継ぐ木工関係者が多数輩出されてきました。また、鋳物づくりの伝統が時の流れを越えて今に伝わるなど、農業とともに手仕事盛んな地域です。

伝統を守りながらも現代生活にマッチし、地域が誇れる「質の高い・新しい生活文化の創造」を目指し、ことうへムスロイド村での「ものづくり活動」は始まりました。それは、森林資源をいかした木工産業を盛んで、文化人を多く生み出したスウェーデンをモデルとしています。

今年は、ことうへムスロイド村が開村してから30年となる記念の年です。

へムスロイドのある暮らし

ことうへムスロイド村開村30周年記念



photo by Takio Hata



30周年事業ホームページ



アクセスマップ

会長から一言メッセージ

へムスロイド村は、伝統技術や手工芸の生活文化創造の発進地にすべく開村されました。鈴鹿の山すそに広がる扇状地のどかな田園地帯の中にたたずむ静かな村では、手工芸作家達が創作活動に励んでいます。このたびの開村30周年を機に、いろいろなイベントを企画しています。地域文化の創造と交流の場としてへムスロイド村をさらに活用できるよう村の運営や利用について考えていきます。



小島善雄 Yoshio Kojima
ことうへムスロイド村開村30周年記念実行委員会会長。湖東地区まちづくり協議会会長

7～9月のイベント

申問西堀榮三郎記念探検の殿堂 IP050-5802-2291 FAX0749-45-3556

10月のイベント

申問湖東支所 IP050-5801-0511 FAX0749-45-1570



過去のへムスロイドの杜まつりの様子

23日(日) へムスロイドの杜まつり
(場所：へムスロイド村)

9日(日) 杜の音楽会
(場所：へムスロイド村)
Spruketkrus：野間友貴、野間美紀（フィドル、マンドーラ、歌、フルート）
Blagaten：田中弘美・中川千晶（ダンス）、本田倫子（ニッケルハルパ）

10月 1日(土)～31日(月) スウェーデン児童文学パネル展
提供：スウェーデン大使館（東京）（場所：湖東図書館）

9月 19日(祝)、23日(祝) スウェーデンとの国際交流イベント
スウェーデンのウメオ市、Ersangskolan校の生徒たちとZOOMを使ったオンライン交流を行います。（場所：西堀榮三郎記念探検の殿堂）
講師：Katrina Sieman (Ersangskolan 学校教諭・科学、数学、医学博士)、川崎一彦（東海大学名誉教授、ストックホルム在住）
・国際交流イベントに向けたフィールドワーク
1回目：6月26日(日)、2回目：7月24日(日)、3回目：8月14日(日)
・国際交流イベントに向けた学習会
1回目：9月4日(日)、2回目：9月11日(日)



ハンドグラヴィールの様子。自由に描いた文字や絵をガラスに彫ります。

8月 6日(土) グラスハンドグラヴィール体験
講師：土橋隆弘、東ユキヤス（場所：西堀榮三郎記念探検の殿堂）

31日(日) へムスロイド村ワークショップ
参加作家：田中智章、石倉創・康夫、竹口要、西川礼華、土橋隆弘、東ユキヤス（場所：へムスロイド村内、各作家の工房）

16日(土) 木工ワークショップ
講師：田中智章（場所：へムスロイド村C棟、田中さんの工房）

7月 10日(日) グラスハンドグラヴィール体験
講師：土橋隆弘、東ユキヤス（場所：西堀榮三郎記念探検の殿堂）

開催中 記念展「へムスロイドのある暮らし」
へムスロイド村を拠点に活躍する作家の作品展
日時：8月28日(日)まで
場所：西堀榮三郎記念探検の殿堂2階
入館料：大人300円 小中学生150円
※市民は無料。障害者とその引率者は無料



イベントカレンダー